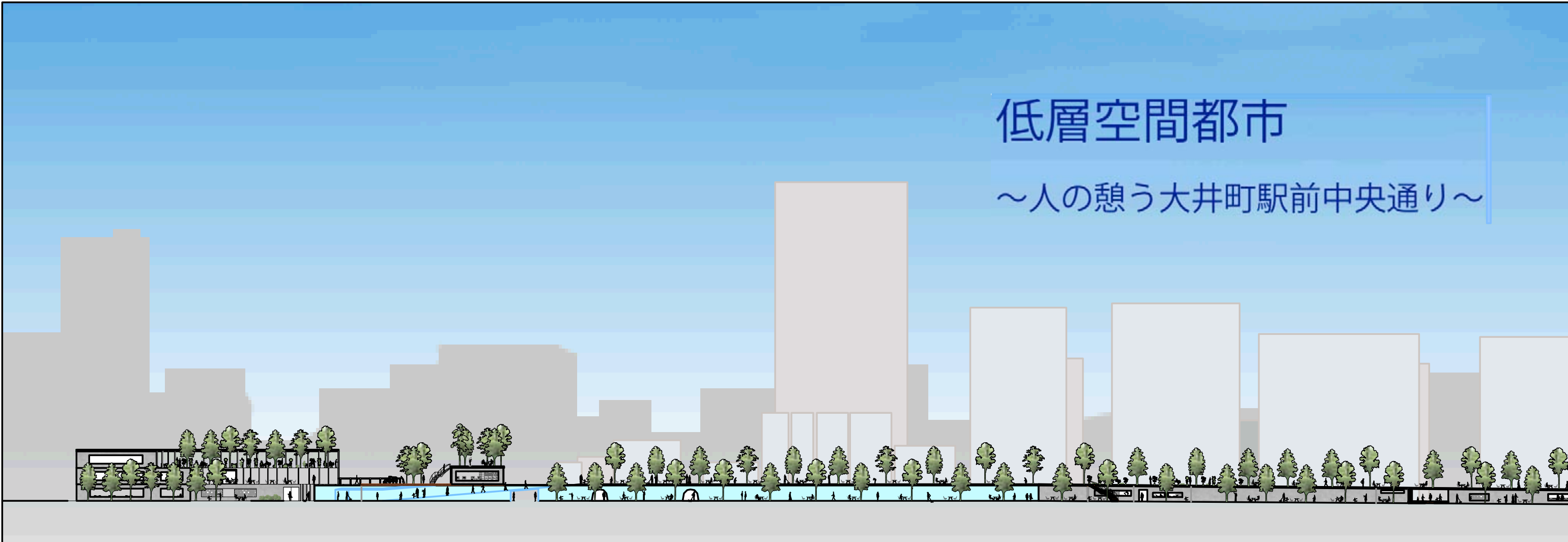


低層空間都市

～人の憩う大井町駅前中央通り～

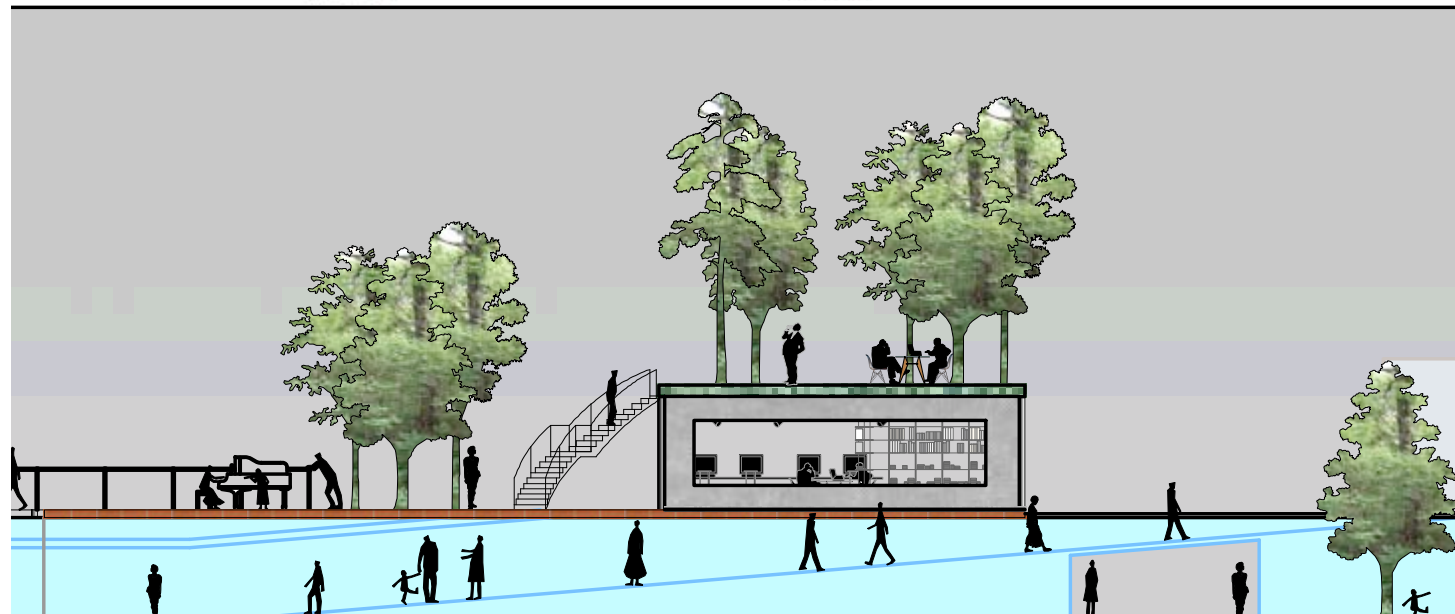
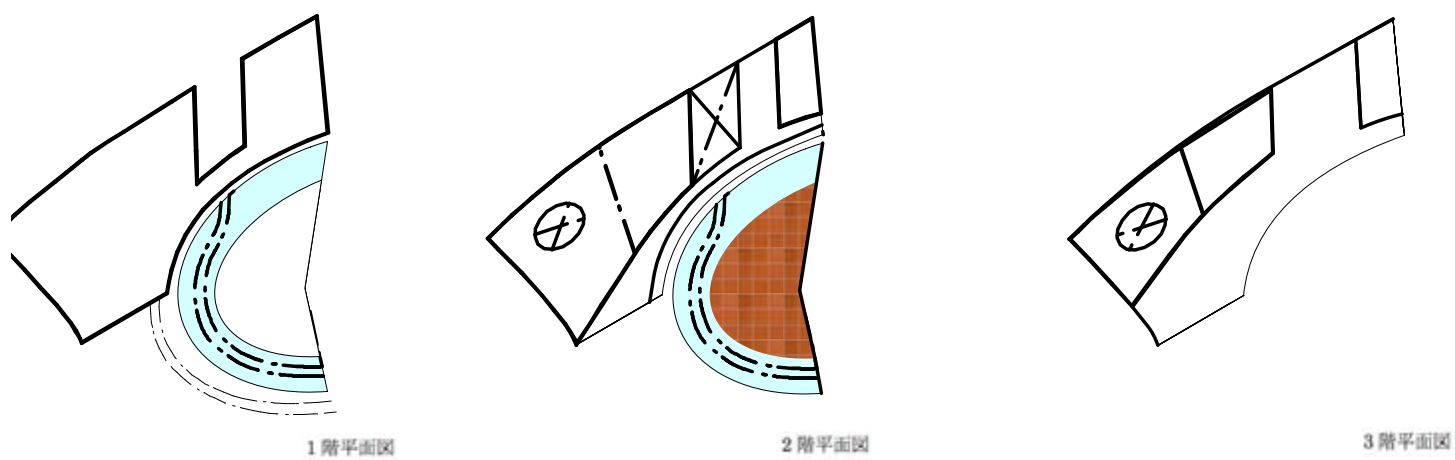
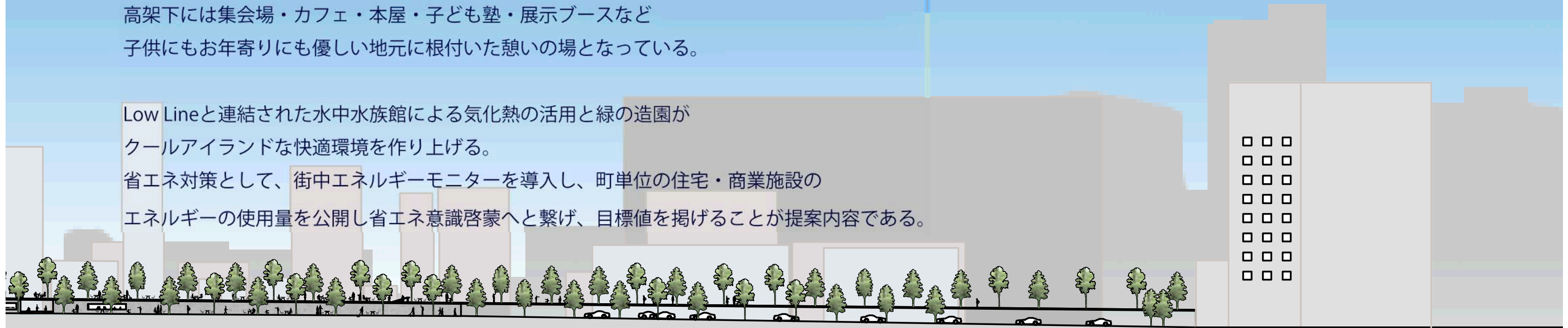


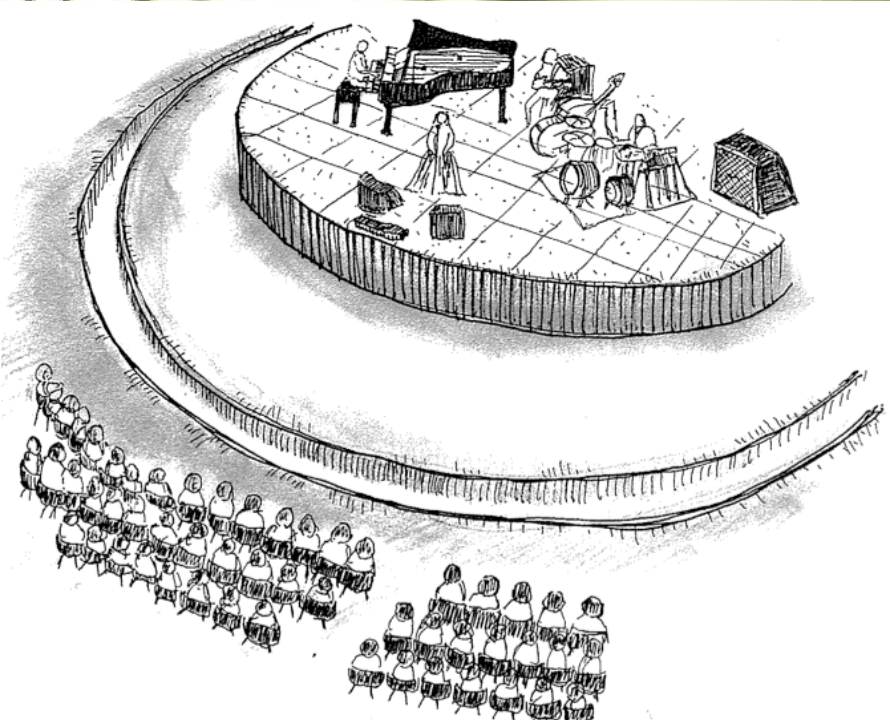
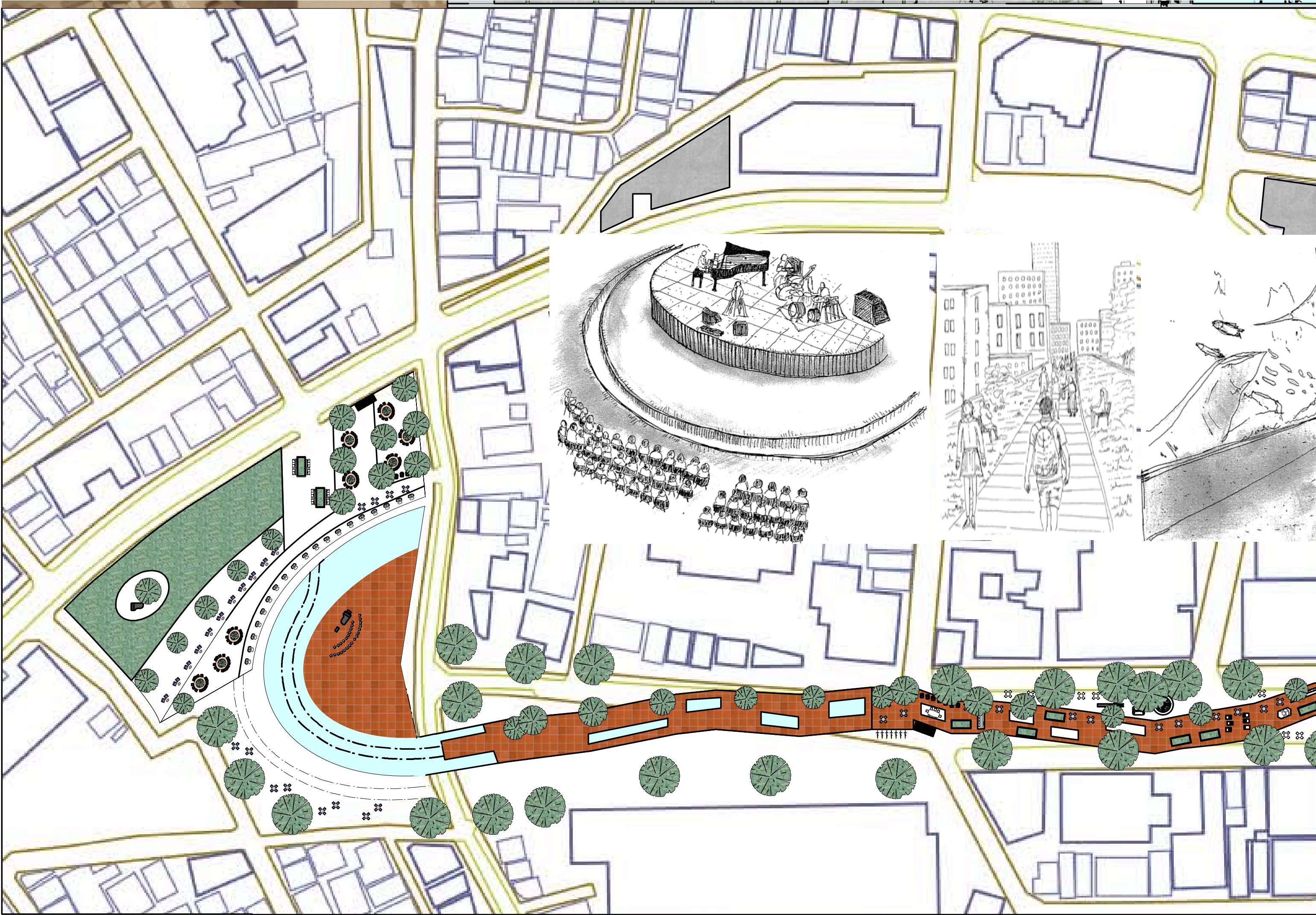
私たちは『つなぐ・あるく・あつまる』をコンセプトとし
住民と働く人々の共存を目指す。

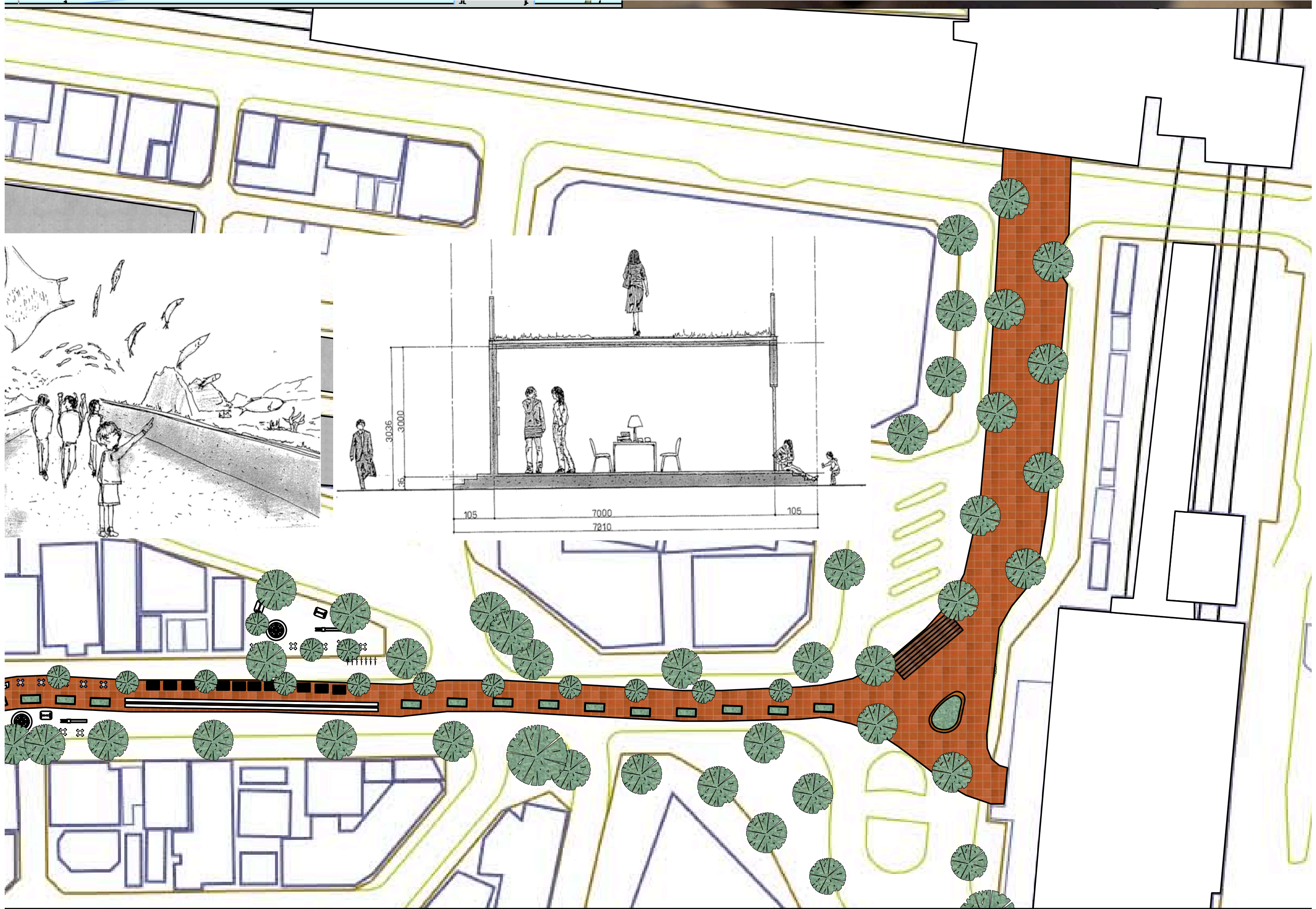
中央通り周辺の車歩道を分離し、Low Lineは大井町を通る三つの路線と中央通りを結び
街のオープンスペースへと導く。

高架下には集会場・カフェ・本屋・子ども塾・展示ブースなど
子供にもお年寄りにも優しい地元根付いた憩いの場となっている。

Low Lineと連結された水中水族館による気化熱の活用と緑の造園が
クールアイランドな快適環境を作り上げる。
省エネ対策として、街中エネルギーモニターを導入し、町単位の住宅・商業施設の
エネルギーの使用量を公開し省エネ意識啓蒙へと繋げ、目標値を掲げることが提案内容である。







提案要旨説明書

■作品タイトル

『低層緑化都市』

■提案要旨

私たちは「住宅地に住まう34万人を超える人々と、50万人ものここで働く人々の共存」に着目し、以下の5点のコンセプトをもとに、より良い大井町のまちづくりを提案したい。

①つなぐ

京浜東北線、東急大井町線、りんかい線とどんたく通りを人工地盤により繋げる。(以下この人口地盤をLOW LINEと呼ぶ)1階部分は高架下建築になっており「街の集会場・カフェ・本屋・子ども塾・大井町歴史展示ブース・小学校から高校の展示ブース」など東口の喧噪とは異なり子供にもお年寄りにも優しい、地元根付いた憩いの場になっている。LOW LINEが街の灯火の役割を果たし、賑やかな動線となる。

②あるく

車道と歩道の混じり合いの改善を考慮し、どんたく通り全面を歩道とする。東口へと繋がる通りと光学通りとのサークル上を主な車道とし、その道沿いに駐車場を設置する。この車歩道分離によりスムーズな動線の確保と事故の減少を目指す。

③あつまる

駅からLOW LINEを通った、どんたく通りの先に新たにひとの集まる都市環境の場を設置する。ここでは「水族館・コンサートホール・映画館・スポーツジム・銭湯」など大井町で働く人々にも利便があり、地域コミュニティの活性や歩行者ネットワークにおける商業拡大にも繋がる。近隣の住民に配慮した低層構造物であり、街のいたるところから入ることが可能である。

④環境

省エネと快適環境の両立をバランスよく応えていくまちづくりを考えた。LOW LINEと連結された水中水族館の水による気化熱の活用と緑の造園がクールアイランドな快適環境を作り上げる。省エネ対策として、街中エネルギーモニターを導入し、町単位の住宅・商業施設のエネルギーの使用量を街の利用者に公開し省エネ意識啓蒙へと繋げ、目標値を掲げる。

⑤安心

LOW LINEは鉄筋コンクリートラーメン構造のため耐震性に優れている。また障害者や高齢者に優しい傾斜のスロープなどユニバーサルデザインがなされている。災害時避難場所となり、さらに災害用の貯蓄庫を設けているので、帰宅困難者などの対応が可能である。